



サイレント

この章では、次のようなオプションを備えたサイレント（DND）機能に関する情報を提供します。

- [コール拒否(Call Reject)]：このオプションは、着信コールの情報をユーザに提示しないことを指定します。[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はビープ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。
- [呼出音オフ(Ringer Off)]：このオプションは、呼び出し音をオフにしますが、着信コール情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。

ユーザは、Cisco Unified IP Phone または Cisco Unified CM のユーザ オプションから直接 DND を設定できます。

- [サイレントの設定, 1 ページ](#)
- [サイレント機能, 2 ページ](#)
- [サイレントのアーキテクチャ, 3 ページ](#)
- [サイレントのシステム要件, 4 ページ](#)
- [インタラクションおよび制限事項, 5 ページ](#)
- [サイレントのインストールとアクティブ化, 8 ページ](#)
- [サイレントの設定, 9 ページ](#)
- [サイレントの使用法, 14 ページ](#)
- [サイレントのトラブルシューティング, 18 ページ](#)

サイレントの設定

サイレント（DND）機能は、次のオプションを提供します。

- [コール拒否(Call Reject)] : このオプションは、着信コールの情報をユーザに提示しないことを指定します。 [DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)]パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はビープ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。
- [呼出音オフ(Ringer Off)] : このオプションは、呼び出し音をオフにしますが、着信コール情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。

DND が有効の場合、通常優先順位の新しい着信コールはすべて、デバイスの DND 設定に従います。 Cisco Emergency Responder (CER) コールや Multi-Level Precedence & Preemption (MLPP) を使用したコールなど、高優先順位のコールが着信した場合は、デバイスで呼び出し音が鳴ります。また、DND を有効にすると、自動応答機能が無効になります。

手順

-
- ステップ 1 DND のサービス パラメータを設定します。
 - ステップ 2 DND のソフトキーを設定します。
 - ステップ 3 DND 機能ボタンを設定します。
 - ステップ 4 デバイスベースの DND パラメータを設定します。
 - ステップ 5 電話プロファイルを設定します。
-

関連トピック

- [サイレントのサービス パラメータの設定, \(9 ページ\)](#)
- [DND ソフトキーの設定, \(9 ページ\)](#)
- [DND に関するデバイス パラメータの設定, \(10 ページ\)](#)
- [共通の電話プロファイルへの DND の追加, \(12 ページ\)](#)
- [サイレント機能, \(2 ページ\)](#)

サイレント機能

DND が有効の場合、通常優先順位の新しい着信コールはすべて、デバイスの DND 設定に従います。 Cisco Emergency Responder (CER) コールや Multi-Level Precedence & Preemption (MLPP) を使用したコールなど、高優先順位のコールが着信した場合は、デバイスで呼び出し音が鳴ります。また、DND を有効にすると、自動応答機能が無効になります。

ユーザは、次のいずれかの方法で、DND の有効と無効を切り替えることができます。

- ソフトキー
- 機能ボタン
- Cisco Unified CM のユーザ オプション のウィンドウ

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、電話機ごとに DND を有効または無効にすることもできます。

DND を有効にした場合は、Cisco Unified IP Phone にサイレントがアクティブになったことを示すメッセージが表示されます。DND がアクティブである場合、一部の Cisco Unified IP Phone に DND ステータス アイコンが表示されます。Cisco Unified IP Phone と DND 機能の詳細については、その IP Phone のユーザガイドを参照してください。

呼警告の設定

DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] または [コール拒否(Call Reject)] が有効の場合、着信呼警告がユーザにどのように表示されるかは、[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] の設定によって決まります。次のリストに、利用可能なオプションを示します。

- [なし(None)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル(Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] 設定をこのデバイスに使用することを指定します。
- [無効(Disable)] : このオプションは、コールのビープと点滅通知の両方をディセーブルにしますが、DND のオプションが [呼出音オフ(Ringer Off)] の場合、引き続き着信コール情報が表示されます。DND のオプションが [コール拒否(Call Reject)] の場合、警告は何も表示されず、デバイスには何の情報も送られません。
- [ビープ音のみ(Beep Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機でビープ音のみが再生されます。
- [フラッシュのみ(Flash Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機で点滅アラートのみが表示されます。

[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] は、デバイスごとに設定できます。また、グループごとに設定する場合は、[共通の電話プロファイル(Common Phone Profile)] ウィンドウで設定することもできます。デバイス レベルで設定しない場合は、[共通の電話プロファイル(Common Phone Profile)] の設定が使用されます。

サイレントのアーキテクチャ

ここでは、SIP デバイスと SCCP デバイスの両方に関する DND アーキテクチャの概要を示します。

SIP デバイスの DND ステータス通知

Cisco Unified Communications Manager は、SIP デバイスまたは Cisco Unified Communications Manager デバイスが開始するサイレントをサポートしています。DND ステータスの変更信号が SIP デバイスから Cisco Unified Communications Manager に送信されるときは、SIP PUBLISH メソッド (RFC3909) が使用されます。DND ステータスの変更信号が Cisco Unified Communications Manager

から SIP デバイスに送信される場合は、`dnupdate Remote-cc REFER` 要求が使用されます。また、Cisco Unified Communications Manager では、デバイスのサイレントステータスを、デバイスのビジステータスおよびアイドルステータスと一緒に発行することもできます。

SCCP デバイスの DND ステータス通知

Cisco Skinny Client Control Protocol (SCCP) は、SCCP デバイスまたは Cisco Unified Communications Manager デバイスが開始するサイレント要求をサポートしています。DND ステータスの変更信号が SCCP デバイスから Cisco Unified Communications Manager に送信される場合は、SCCP メッセージが使用されます。

サイレントのシステム要件

ここでは、サイレントに関するソフトウェア要件とハードウェア要件を示します。

ソフトウェア要件

サイレント機能が動作するには、次のソフトウェアコンポーネントが必要です。

- Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0(1) 以降

ハードウェア要件

以下の Cisco Unified IP Phone がサイレント機能をサポートしています。

- Cisco Unified IP Phone 6900 シリーズ (6901 と 6911 を除く)
- Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ
- Cisco Unified IP Phone 8900 シリーズ
- Cisco Unified IP Phone 9900 シリーズ



(注) SIP を実行している Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 は、サイレントに関する独自の低位互換性を実装しています。この設定は、[SIPプロファイル(SIP Profile)] ウィンドウで行います。

Cisco Unified IP Phone と DND 機能の詳細については、使用している電話機モデルのユーザマニュアルを参照してください。

サイレントのデバイス サポート状況の確認

サイレントをサポートするデバイスの完全なリストを作成するには、Cisco Unified Reporting アプリケーションを使用します。そのためには、次の手順に従います。

Cisco Unified Reporting アプリケーションの詳細については、『*Cisco Unified Reporting Administration Guide*』を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** 次のいずれかの方法を使用して、Cisco Unified Reporting を開始します。
Web アプリケーションへのアクセスを許可されるまで、ユーザの認証には Cisco Tomcat サービスが使用されます。アプリケーションには次の方法でアクセスできます。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページのナビゲーションメニューで [Cisco Unified Reporting] を選択し、[Go] をクリックします。
 - Cisco Unified Real Time Monitoring Tool (RTMT) のメニューで [File] > [Cisco Unified Reporting] を選択します。
 - `https://<サーバ名または IP アドレス>:8443/cucreports/` と入力し、認証済みのユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 2** ナビゲーションバーで、[System Reports] をクリックします。
- ステップ 3** 左側のカラムに表示されたレポートのリストで、[Unified CM Phone Feature List] オプションをクリックします。
- ステップ 4** [Generate a new report] リンクをクリックして新規レポートを生成するか、または、レポートがすでに存在する場合は、[Unified CM Phone Feature List] リンクをクリックします。
- ステップ 5** DNDをサポートするすべてのデバイスのレポートを生成するには、対応するドロップダウンリストボックスから次の設定を選択し、[Submit] ボタンをクリックします。
- [Product] : [All]
[Feature] : [Do Not Disturb]
- [List Features] ペインに、DNDがサポートされているすべてのデバイスのリストが表示されます。カラムの見出し ([Product] または [Protocol]) の隣にある上下の矢印キーをクリックして、リストをソートできます。
-

インタラクションおよび制限事項

ここでは、サイレントのインタラクションおよび制限事項に関する情報を提供します。

インタラクション

ここでは、サイレント機能と Cisco Unified Communications Manager アプリケーションおよびコール処理機能がどのように相互作用するかについて説明します。

不在転送

Cisco Unified IP Phone では、サイレント (DND) 機能がアクティブであることを示すメッセージの方が、新しいボイスメールメッセージが存在することを示すメッセージよりも優先されます。これにより、ユーザは DND がアクティブになったことを把握できます。ただし、不在転送機能がアクティブであることを示すメッセージは DND よりも優先されます。

パーク復帰

ローカルでパークされたコールについては、DND (両方のオプション) よりもパーク復帰が優先されます。DND が有効になっている電話機 A がコールをパークしている場合、電話機 A に対するパーク復帰は通常どおりに処理され、電話機 A で呼び出し音が鳴ります。

リモートでパークされたコールについては、パーク復帰よりも DND が優先されます。

- DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] がアクティブになっている電話機 A が電話機 A' と回線を共有している場合、電話機 A' がコールをパークしているときは、電話機 A でパーク復帰が行われても、呼び出し音は鳴りません。この場合は、DND 設定に従います。
- 電話機 A が DND の [コール拒否(Call Reject)] をアクティブにしている場合、パーク復帰コールは電話機 A に表示されません。

ピックアップ

ローカルで開始されたピックアップ要求については、DND (両方のオプション) よりもピックアップが優先されます。DND が有効になっている電話機 A が何らかのピックアップを開始した場合、ピックアップ コールは通常どおりに表示され、電話機 A で呼び出し音が鳴ります。

リモートで開始されたピックアップ要求については、ピックアップよりも DND が優先されます。

- DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] がアクティブになっている電話機 A が電話機 A' と回線を共有している場合、電話機 A' がピックアップを開始したときは、電話機 A に対するピックアップコールによって呼び出し音が鳴ることはありません。この場合は、DND 設定に従います。
- 電話機 A が DND の [コール拒否(Call Reject)] モードにある場合、ピックアップ コールは電話機 A に表示されません。

保留復帰とインターコム

保留復帰とインターコムは、DND（両方のオプション）よりも優先されます。したがって、コールは通常どおりに表示されます。

MLPP と CER

MLPP（SCCP を実行している電話機）および CER コールは、DND（両方のオプション）よりも優先されます。MLPP コールと CER コールは通常どおりに表示され、電話機で呼び出し音が鳴ります。

折り返し

発信側に関しては、折り返しは DND よりも優先されます。アクティブなデバイスが DND モード（両方のオプション）にある場合でも、折り返し通知（音声と表示の両方）はユーザに表示されます。

受信側に関しては、折り返しよりも DND が優先されます。

- 受信側が DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] モードにある場合、受信側がオフフックにしてからオンフックにした後に、折り返しを使用可能とする画面が送信されます。
- 受信側が DND の [コール拒否(Call Reject)] モードにあつて使用可能である（オフフック後にオンフックになっている）とき、アクティブなデバイスが同じクラスタにある場合、そのアクティブなデバイスに対して「<DirectoryNumber> は使用可能になりましたが、DND-R があります。」という新しい画面が送信されます。折り返し通知は、受信側が DND の [コール拒否(Call Reject)] を無効にした後でのみ送信されます。

ピックアップ通知

DND のオプションが [呼出音オフ(Ringer Off)] の場合、ビジュアル通知だけがデバイスに表示されます。

DND のオプションが [コール拒否(Call Reject)] の場合、デバイスに通知は表示されません。

ハント リスト

ハントリスト内のデバイスが DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] をアクティブにしている場合でも、そのハントリストにコールが発信されると、そのコールはユーザに表示されます。ただし、[DND 着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] を設定した場合は、この設定が適用されます。

ハントリスト内のデバイスが DND の [コール拒否(Call Reject)] をアクティブにしている場合、そのハントリストに発信されたコールは次のメンバに送られ、このデバイスには送信されません。

エクステンション モビリティ

エクステンション モビリティでは、デバイス プロファイルの設定には、[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] と DND ステータスが含まれます。ユーザがログインし、DND を有効にすると、[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] と DND ステータスの設定が保存されます。これらの設定は、ユーザが再度ログインしたときに使用されます。



(注) エクステンションモビリティにログインしているユーザが [DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] と DND ステータスの設定を変更しても、実際のデバイス設定には影響しません。

制限事項

使用中の電話機またはデバイスのタイプに応じて、DND の使用は一部制限されます。

- SCCP を実行している電話機モデルおよびデバイスのうち、次のものは DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションだけをサポートします。
 - Cisco Unified IP Phone 7940
 - Cisco Unified IP Phone 7960
 - Cisco IP Communicator



(注) SIP を実行する Cisco Unified IP Phone 7940 および 7960 は、サイレントに関する独自の互換性を実装しています。

- 次の電話機モデルおよびデバイスは、DND の [コール拒否(Call Reject)] オプションだけをサポートします。
 - モバイル デバイス (デュアル モード)
 - リモート接続先プロファイル
 - Cisco Unified Mobile Communicator

サイレントのインストールとアクティブ化

サイレントというシステム機能は、Cisco Unified Communications Manager ソフトウェアに標準装備されています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

サイレントの設定

この項では、サイレント機能の設定手順について説明します。



ヒント

サイレント機能を設定する前に、DND の設定タスクの概要を確認してください。

関連トピック

[サイレントの設定, \(1 ページ\)](#)

サイレントのサービスパラメータの設定

Cisco Unified Communications Manager は、サイレントに関するシステム規模のサービスパラメータの 1 つである BLF Status Depicts DND を提供します。このパラメータは、BLF (Busy Lamp Field) ステータスの計算において DND ステータスを考慮するかどうかを指定します。パラメータは [True] または [False] に設定できます。

- BLF Status Depicts DND に [True] を指定し、DND がデバイスでアクティブになった場合は、デバイスの BLF ステータス インジケータまたはライン アピアランスに DND の状態が反映されます。
- BLF Status Depicts DND に [False] を指定し、DND がデバイスでアクティブになった場合は、デバイスの BLF ステータス インジケータまたはライン アピアランスに実際のデバイス状態が反映されます。

BLF Status Depicts DND がクラスタに対して有効または無効になっている場合は、そのクラスタ設定が DND をサポートしているサーバのすべての電話機に適用されます。



(注)

このサービスパラメータを設定するには、[システム(System)] > [サービスパラメータ(Service Parameters)] に移動し、設定するサーバの [Cisco CallManager] サービスを選択します。[Clusterwide Parameters (System - Presence)] ペインで、[BLF Status Depicts DND] に目的の状態を指定します。

DND ソフトキーの設定

デフォルトのソフトキーテンプレートでは、DND のソフトキーは使用可能になりません。DND のソフトキーを追加するには、[デバイス(Device)] > [デバイスの設定(Device Settings)] > [ソフトキーテンプレート(Softkey Template)] に移動し、[ソフトキーテンプレートの設定(Softkey Template Configuration)] ウィンドウでソフトキーテンプレートにサイレントを追加し、テンプレートをデバイスに関連付けます。

DND のソフトキーは次の状態で使用可能になります。

- 接続時
- 接続時（会議打診）
- 接続時（転送打診）
- オフフック
- オフフック（機能使用時）
- 保留
- リモートで使用中
- オンフック
- 着信中
- 発信中
- 先頭桁入力後

DND ボタンの設定

DND ボタンを設定するには、[デバイス(Device)]>[デバイスの設定(Device Settings)]>[電話ボタンテンプレート(Phone Button Template)]に移動し、[電話ボタンテンプレートの設定(Phone Button Template Configuration)] ウィンドウで [Do Not Disturb] を追加します。

DND に関するデバイスパラメータの設定

特定の Cisco Unified IP Phone 上で DND を設定するには、[デバイス(Device)]>[電話機(Phone)]に移動して設定する電話機を選択します。[電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウの [サイレント(Do Not Disturb)] ペインで、以下の表に示されているパラメータを設定します。

表 1: DND のデバイスパラメータ

フィールド	説明
[サイレント(Do Not Disturb)]	電話機でサイレントを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

フィールド	説明
[DNDオプション(DND Option)]	<p>電話機でDNDを有効にした場合、このパラメータでは、DND機能が着信コールをどのように処理するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [コール拒否(Call Reject)]：このオプションは、着信コールの情報をユーザに提示しないことを指定します。[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)]パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はビープ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。 • [呼出音オフ(Ringer Off)]：このオプションは、呼び出し音をオフにしますが、着信コール情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。 • [共通の電話プロファイル設定を使用(Use Common Phone Profile Setting)]：このオプションは[共通の電話プロファイル(Common Phone Profile)]ウィンドウの[DNDオプション(DND Option)]設定をこのデバイスに使用することを指定します。 <p>(注) SCCPを実行している7940/7960電話機の場合、選択できるのは[呼出音オフ(Ringer Off)]オプションだけです。モバイルデバイスとデュアルモードフォンの場合、選択できるのは[コール拒否(Call Reject)]オプションだけです。モバイルデバイスまたはデュアルモードフォンでサイレント(DND)の[コール拒否(Call Reject)]をアクティブにしている場合、デバイスにはコール情報は何も表示されません。</p>

フィールド	説明
[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)]	<p>DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] オプションまたは [コール拒否(Call Reject)] オプションを有効にした場合、このパラメータは電話機でコールを表示する方法を指定します。</p> <p>ドロップダウンリストから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [なし(None)] : このオプションは、[共通の電話プロフィール(Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] 設定をこのデバイスに使用することを指定します。 • [無効(Disable)] : このオプションは、コールのビープと点滅通知の両方をディセーブルにしますが、DND のオプションが [呼出音オフ(Ringer Off)] の場合、引き続き着信コール情報が表示されます。DND のオプションが [コール拒否(Call Reject)] の場合、警告は何も表示されず、デバイスには何の情報も送られません。 • [ビープ音のみ(Beep Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機でビープ音のみが再生されます。 • [フラッシュのみ(Flash Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機で点滅アラートのみが表示されます。

共通の電話プロフィールへの DND の追加

DND を共通の電話プロフィールに追加するには、[デバイス(Device)] > [デバイスの設定(Device Settings)] > [共通の電話プロフィール(Common Phone Profile)] に移動し、変更する電話プロフィールを選択します。[共通の電話プロフィールの設定(Common Phone Profile Configuration)] ウィンドウで、下の表に示されている DND のパラメータを設定します。

表 2: 共通の電話プロフィールにおける DND のパラメータ

フィールド	説明
[DNDオプション(DND Option)]	<p>電話機で DND を有効にした場合、このパラメータでは、DND 機能が着信コールをどのように処理するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [コール拒否(Call Reject)] : このオプションは、着信コールの情報をユーザに提示しないことを指定します。 [DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はビープ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。 • [呼出音オフ(Ringer Off)] : このオプションは、呼び出し音をオフにしますが、着信コール情報がデバイスに表示されるため、ユーザはコールを受け付けることができます。 <p>(注) モバイルデバイスとデュアルモードフォンの場合、選択できるのは [コール拒否(Call Reject)] オプションだけです。モバイルデバイスまたはデュアルモードフォンでサイレント (DND) の [コール拒否(Call Reject)] をアクティブにしている場合、デバイスにはコール情報は何も表示されません。</p>

フィールド	説明
[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)]	<p>DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] オプションまたは [コール拒否(Call Reject)] オプションを有効にした場合、このパラメータは電話機でコールを表示する方法を指定します。</p> <p>ドロップダウンリストから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [なし(None)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル(Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND 着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] 設定をこのデバイスに使用することを指定します。 • [無効(Disable)] : このオプションは、コールのビープと点滅通知の両方をディセーブルにしますが、DND のオプションが [呼出音オフ(Ringer Off)] の場合、引き続き着信コール情報が表示されます。DND のオプションが [コール拒否(Call Reject)] の場合、警告は何も表示されず、デバイスには何の情報も送られません。 • [ビープ音のみ(Beep Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機でビープ音のみが再生されます。 • [フラッシュのみ(Flash Only)] : 着信コールの場合、このオプションによって、電話機で点滅アラートのみが表示されます。

サイレントの使用法

この項では、サイレントの使用手順や、サイレントに関するさまざまなコールシナリオでの使用例について説明します。

サイレント機能の使用法

サイレントは、次のいずれかの方法でアクティブにすることができます。

- ソフトキー
- 機能ボタン
- Cisco Unified CM のユーザ オプション

DNDをアクティブにすると、電話機のステータス行に「サイレントはアクティブです」と表示されます。次に、DND回線ボタンアイコンが中空の円になり、ランプがオレンジ色に点灯します。

DNDをアクティブにしても、電話機で着信コールの通知を受信することができます。この動作は、Cisco Unified Communications Managerの管理ページにある[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)]で指定されたとおりに行われます。ただし、高優先順位のコール（Cisco Emergency ResponderコールやMLPPコールなど）が着信した場合を除き、電話機で呼び出し音が鳴ることはありません。

また、電話機で呼び出し音が鳴っているときにDNDを有効にすると、呼び出し音は停止します。

サイレントの使用例

この項では、DNDの[呼出音オフ(Ringer Off)]オプションおよび[コール拒否(Call Reject)]オプションの両方に関して、サイレント機能が有効になっている電話機でコールがどのように表示されるかについての例を示します。

DNDの呼び出し音オフオプション

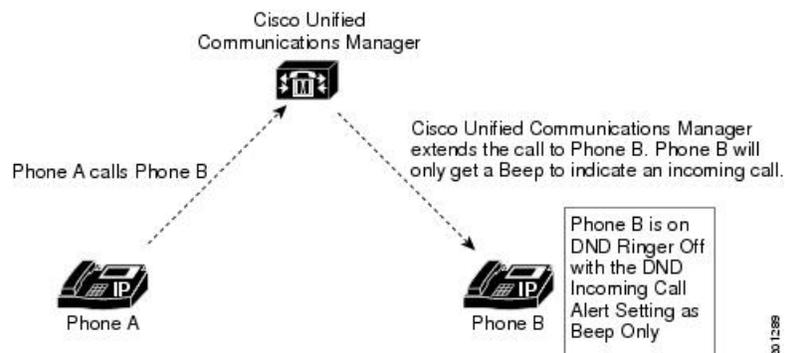
次の例では、DNDの[呼出音オフ(Ringer Off)]オプションを使用します。

非共有回線でDNDの[呼出音オフ(Ringer Off)]が有効になっている場合の通常優先順位のコール

下の図は、非共有回線でDNDの[呼出音オフ(Ringer Off)]が有効になっている電話機に対して通常優先順位のコールを発信する場合のDNDに関連する手順を示しています。

- 1 電話機 B が DND をアクティブにします。電話機 B に「サイレントはアクティブです」と表示されます。
- 2 電話機 A が電話機 B にダイヤルします。
- 3 電話機 B でピープ音が鳴り、電話機 A が呼び出し音を受信します。

図 1: 非共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている場合の通常優先順位のコール

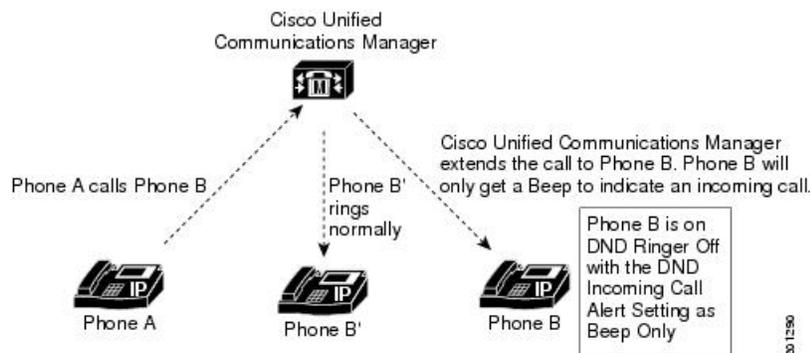


共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている場合の通常優先順位のコール

下の図は、共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている電話機に対して通常優先順位のコールを発信する場合の DND に関連する手順を示しています。

- 1 電話機 B が DND をアクティブにします。電話機 B に「サイレントはアクティブです」と表示されます。
- 2 電話機 A が電話機 B の共有回線にダイヤルします。
- 3 電話機 B でビープ音が鳴ります。一方、回線を共有している電話機 B' では通常どおりに呼び出し音が鳴ります。
- 4 電話機 A が呼び出し音を受信します。

図 2: 共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている場合の通常優先順位のコール



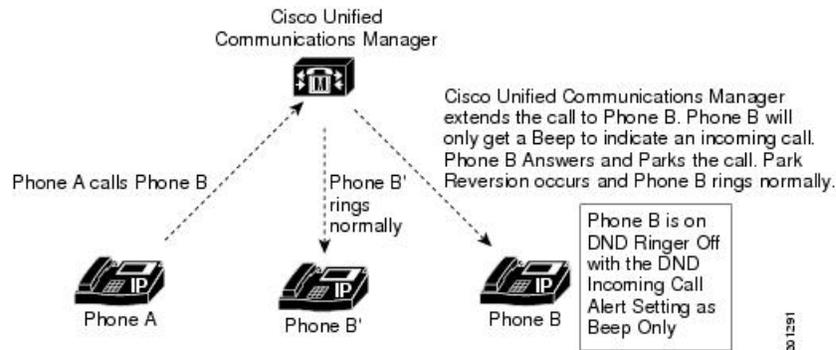
共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている場合の高優先順位のコール

下の図は、非共有回線で DND の [呼出音オフ(Ringer Off)] が有効になっている電話機に対して高優先順位のコールを発信する場合の DND に関連する手順を示しています。

- 1 電話機 B が DND をアクティブにします。電話機 B に「サイレントはアクティブです」と表示されます。
- 2 電話機 A が電話機 B の共有回線にダイヤルします。
- 3 電話機 B でビープ音が鳴ります。一方、回線を共有している電話機 B' では通常どおりに呼び出し音が鳴ります。
- 4 電話機 A が呼び出し音を受信します。
- 5 電話機 B が応答し、コールをパークします。

- 6 パーク復帰が行われ、電話機 B で通常どおりに呼び出し音が鳴ります。

図 3: 共有回線で **DND** の [呼出音オフ (*Ringer Off*)] が有効になっている場合の高優先順位のコール



非共有回線で **DND** および無応答時転送が有効になっている場合の通常コール

次の手順は、**DND** と無応答時転送 (CFNA) の両方がアクティブになっている電話機に対して発信するコールのコールフローを示しています。

- 1 電話機 B が、電話機 C にコールを転送するように無応答時転送を設定します。
- 2 電話機 B が **DND** をアクティブにします。
- 3 電話機 A が電話機 B にコールします。
- 4 電話機 B でビープ音が鳴りますが、コールには応答しません。
- 5 コールが電話機 C に転送され、電話機 C で通常どおりに呼び出し音が鳴ります。

DND のコール拒否オプション

次の例では、**DND** の [コール拒否(*Call Reject*)] オプションを使用します。

非共有回線で **DND** の [コール拒否(*Call Reject*)] が有効になっている場合の通常優先順位のコール

次の手順は、非共有回線で [コール拒否(*Call Reject*)] が有効になっている場合のコールのコールフローを示しています。

- 1 電話機 B は、**DND** の [コール拒否(*Call Reject*)] をアクティブにし、[**DND**着信呼警告(*DND Incoming Call Alert*)] を [ビープ音のみ(*Beep Only*)] に設定しています。
- 2 電話機 A が電話機 B にコールします。
- 3 Cisco Unified Communications Manager は、理由がユーザ ビジーのコールを拒否します。
- 4 電話機 B はビープ音だけを受信します。

共有回線で **DND** の [コール拒否(Call Reject)] が有効になっている場合の通常優先順位のコール次の手順は、共有回線で [コール拒否(Call Reject)] が有効になっている場合のコールのコールフローを示しています。

- 1 電話機 B は、DND の [コール拒否(Call Reject)] をアクティブにし、[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] を [ビープ音のみ(Beep Only)] に設定しています。
- 2 電話機 A が電話機 B にコールします。
- 3 Cisco Unified Communications Manager は、理由がユーザ ビジーのコールを拒否します。
- 4 電話機 B はビープ音だけを受信します。
- 5 DND モードにない電話機 B' で通常どおりに呼び出し音が鳴ります。

共有回線で **DND** の [コール拒否(Call Reject)] が有効になっている場合の高優先順位のコール次の手順は、共有回線で DND の [コール拒否(Call Reject)] が有効になっている場合の高優先順位コールのコールフローを示しています。

- 1 電話機 A は、DND の [コール拒否(Call Reject)] をアクティブにし、[DND着信呼警告(DND Incoming Call Alert)] を [ビープ音のみ(Beep Only)] に設定しています。
- 2 電話機 A が電話機 B にコールします。
- 3 Cisco Unified Communications Manager が電話機 B にコールを送達します。
- 4 電話機 B がコールに応答します。
- 5 電話機 A がコールをパークします。
- 6 DND モードにない電話機 A' で通常どおりに呼び出し音が鳴ります。
- 7 パーク復帰が行われ、電話機 A で通常どおりに呼び出し音が鳴ります。

サイレントのトラブルシューティング

ここでは、Cisco Unified IP Phone (SCCP と SIP) に関するトラブルシューティング情報を提供します。

DND トラブルシューティング

DND が期待どおりに動作しない場合は、次の例に示すように、SCCP ステーションコードによって管理される設定が、ユーザの考えと一致しているかどうかを確認します。

DND の切り替えによる DND ステータスの確認

ソフトキーまたは機能ボタンを使用して DND ステータスを切り替えると、回線制御に送信される LmFeatureInd メッセージに新しいステータスが表示されます (新しいステータスは、以前のス

ステータスとは反対のものになっています)。後で、以前のステータスに切り替えることもできます。

LmFeatureInd SDL トレースには、次の3つのフィールドがあります。

- **feature** : 値が 4 の場合は DND を示します。
- **featureState** : 値が 0 の場合はオンを示し、値が 1 の場合はオフを示します。
- **dndOption** : 値が 0 の場合は不明、値が 1 の場合は呼び出し音オフ、値が 2 の場合はコール拒否を示します。

電話機のリセットによるすべての DND 設定の確認

電話機をリセットすると、すべての DND 設定が詳細な SDI トレースに出力されます。次に例を示します。

```
StationD: (xxxxxxx) DND settings from TSP: status=a, option=b, ringSetting=d
```

変数の意味は、次のとおりです。

- **a** は 0 (DND オフ) または 1 (DND オン)
- **b** は 1 (DND の呼び出し音オフ オプション。1 は呼び出し音オフを示す)
- **d** は 1 (呼び出し音オフ)、2 (フラッシュのみ)、または 5 (ビーブ音のみ)

SIP を実行している電話機のトラブルシューティング

SIP を実行している電話機をトラブルシューティングするには、次の情報を使用します。

- デバッグ : sip-dnd、sip-messages、dnd-settings
- 表示 : config、dnd-settings
- スニファ トレース

SCCP を実行している電話機のトラブルシューティング

SCCP を実行している電話機をトラブルシューティングするには、次の情報を使用します。

- デバッグ : jvm all info
- スニファ トレース

DND エラーのトラブルシューティング

下の表は、DND のトラブルシューティングに関する症状とアクションを示しています。

表 3: DND のトラブルシューティングに関する症状とアクション

症状	アクション
DND の機能キーが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager のバージョンをチェックして、それが 6.0 以降であることを確認します。 • この電話機のボタンテンプレートに DND の機能キーが含まれていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話機が正しいボタンテンプレートを取得することを確認します。 • 電話機がファームウェア 8.3(1) 以降を実行していることを確認します。
DND のソフトキーが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager のバージョンをチェックして、それが 6.0 以降であることを確認します。 • この電話機のソフトキーテンプレートに DND が含まれていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話機が正しいソフトキーテンプレートを取得することを確認します。 • 電話機がファームウェア 8.3(1) 以降を実行していることを確認します。
BLF スピードダイヤルに DND ステータスが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Communications Manager のバージョンをチェックして、それが 6.0 以降であることを確認します。 • エンタープライズパラメータで BLF DND が有効に設定されていることを確認します。 • スニファトレースをキャプチャし、電話機が正しい通知メッセージを取得することを確認します。 • 電話機がファームウェア 8.3(1) 以降を実行していることを確認します。